

伝統工芸のよさを伝えよう

～伝統工芸のよさについてリーフレットにまとめる～

小学校4年 国語

「世界にほこる和紙」

資料の活用

ねらい

○伝統工芸に関する本を読み、伝統工芸のよさが書かれていると思う部分を中心に要約し、集めた情報を整理し、リーフレットにまとめることができる。

学 習 展 開

- ① 学習のめあてを確かめる。
- ② 日本の伝統工芸の一覧表から興味のある伝統工芸を百科事典で調べ、リーフレットで紹介したい伝統工芸を決める（絞る）。
- ③ 選んだ伝統工芸品について書かれている本やパンフレットなど資料から必要な情報を選び、情報メモに記録する。必要な情報として、文章、写真、絵、地図、見聞したことを記録する。
- ④ 情報メモを取捨選択・整理し、挿絵を入れて、リーフレットにまとめる。
- ⑤ 学級や図書館展示でリーフレットを紹介する。



児童の作成した伝統工芸リーフレット

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭、学校司書は担任と学習のねらいや資料の活用の仕方を相談して、児童が必要な情報を読み取ることで資料の準備を行う。
- 学校司書は、一人が複数の資料から情報収集ができるよう、児童数の倍以上の数の資料を準備する。自校の図書館や校区の中学校、広く公共図書館から資料を準備し、教室内に整える。
- 調べる活動において、司書教諭、学校司書はT2,T3として授業に参加する。

★指導のポイント

- ◆ 資料は、学習のねらいを達成できるものを選書し、4年教室に置き、常に読める環境を作る。
- ◆ 全国の伝統工芸を絵と地図で紹介した一覧表と本を提示し、興味を持てるようにした。
- ◆ 興味を持ってもらえるリーフレットにまとめるために、情報メモの選択・整理に重点をおいた。

資料

「ポプラディア情報館 伝統工芸」(ポプラ社)、「総合百科事典ポプラディア」1～12巻(ポプラ社)4セット、「ポプラディアプラス 仕事・職業 職業図鑑上」(ポプラ社)、「都道府県別日本の伝統文化」1～6巻(国土社)、「調べてみよう!日本の職人 伝統のワザ」1～7巻(学研)、「わくわく発見!日本の伝統工芸」(河出書房新社)「伝統工芸ってなに?見る・知る・楽しむガイドブック」(芸艸堂)、「自然の材料と昔の道具①竹でつくる」(さ・え・ら書房)、「つくってあそぼう 27 和紙の絵本」(農文協)、「しごとばシリーズ⑤もっと・しごとば」(ブロンズ新社)、「和菓子のほん」(福音館書店)、「見て、知って、作ってみよう 和菓子の絵事典 五感で味わう「和の文化」」(PHP)他